

北上川水系(下流)、鳴瀬川水系の 渇水情報連絡会(第3回)を開催しました ～かんがい用水需要期を乗り切る。関係機関による渇水対応の継続を確認～

- 仙台管区气象台発表によると今後9月初めまでは降雨が少ない状況が続く予報であることから、8月27日(月)に渇水情報連絡会(第3回)を開催しました。
- 連絡会では、各機関から河川状況・ダム貯水状況・取水状況・節水の取組についての報告がされ、農業用水利水者からは、各機関の連携した渇水対応により「穂ばらみ期～出穂期をなんとか乗り切れる」との報告がありました。
そのほか重大な取水障害及び河川環境への著しい悪影響は報告されませんでした。
- 一部水稻では晩期栽培品種への用水が9月上旬まで見込まれること、また引き続き上水・発電・工業用水の取水も必要であることから、今後もしばらく河川管理者、ダム管理者、利水者等が連携して渇水に対応していくことを確認しました。

【渇水情報連絡会の内容】

①今後の見込み

- 管区气象台 ○台風15号によるまとまった降雨は期待できず、9月初めまでは降雨が少ない状況が続く。
- ダム管理者 ○まとまった降雨が見込めないため、貯水率の低いダムにおいては今後も低い状況が続く見込み。
- 利水者 ○農業用水では、出穂期並の多くの水は必要ではないが一部晩期栽培品種への用水が9月上旬まで見込まれる。
○上水・発電・工業用水も取水継続。

②連絡会としての確認事項

- 鳴子ダム(国)及び岩堂沢ダム(県)関係
○8月27日午後5時以降は、鳴子ダム放流量を4.5m³/s、岩堂沢ダム4.5m³/sとし、8月31日午前10時までは、かんがい用水のため放流する。
○8月31日午前10時以降、鳴子ダム・岩堂沢ダムは、河川環境を維持する流量相当分を放流し、貯水位の回復に努める。
- 上記①の今後見込まれる状況に対応するため、今後も引き続き、河川管理者、ダム管理者、利水者等が連携して今回の渇水状況に対応していくことを連絡会として確認した。

発表記者会 : 石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所
石巻市蛇田字新下沼80 TEL 0225-94-0194(代表)
技術副所長 佐藤 伸吾(内線 205)
占用調整課長 瓜生 圭男(内線 341)

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
大崎市鳴子温泉字岩淵2-8(Tel.0229-82-2341)
管理所長 松川 正彦(内線 201)
専門職 浅野 隆郎(内線 511)